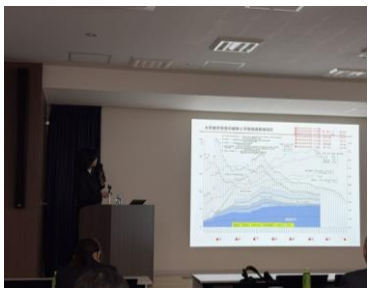
校長室から SEASON2 NO.33 R8.11.2

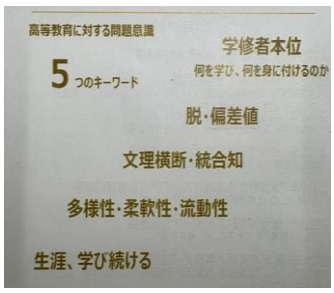
全校集会 11月16日全校集会がありました。私からの話はイチローさんが某高校で野球指導の話をされた時の内容を取り上げ





「ライバルとなる強豪校は一つ上のレベルの練習をしていることを頭に入れておくほうが良い」という話から自分だけが頑張っているわけではないから練習の意味、意義を考えて練習することやチームとして個人としてその意識で練習することで壁を乗り越えようという話をしました。また神戸マラソンの経験から自分たちの周りで関わってくれている人は多く、みんなを見ている、応援されるような行動をとれるよう生活を見直そう、感謝する気持ちを忘れないようにしていこうと話しました。その後10月末からの各種大会の表彰を行い、信川生徒指導部長は遅刻についての話の中で自ら行動を起こしていくこと、注意されるのを待つのではなくルールをしっかり守る姿勢を身につけなければいけないと注意喚起をしました。2学期末に向けて重要な期末考査もありますし、今一度学校での生活、家での生活をしっかり見直して高校生活を充実させてほしいです。





私立大学理事長と私立高校理事長校長交流会 11月17日私立大学との交流会における研修会に文部科学省高等教育局大学振興課長石橋晶様が来られ、今後の大学振興の在り方や進め方などの講演をされました。大学受験を考える高校としては大学がどのような方向に進むかは興味のあるところで、脱偏差値を掲げ生涯にわたって学び続けることを目標に大学振興を図るということでした。特に多様性ということも最近よく使われる文言で意識されており、高校も進むべき道は同じであることを再確認しました。その後の交流会においても大学理事長学長の話を伺うこともでき、大変刺激になりました。

1・2年生スポーツ大会 11月18日グリーンアリーナ・多目的グラウンドで1・2年生がスポーツ大会を実施しました。1年生はグラウンドでのサッカーとサブアリーナでのドッジボール、バレーボールの3種目、2年生はメインアリーナでフットサル、バスケットボール、バレーボールの3種目で競いました。部活動の生徒を中心としたチーム作りのため、トップアスリートコースのクラスが有利になりがちですが、他のコースに所属している各運動部の生徒が周りの生徒を活かしながらレベルの高い試合を展開し、とても見応えのある大会でした。観戦態度も良く、1週間前に行われた体育祭同様盛り上がりのある行事になったと思います。2年生の閉会式で話をしましたが、こういった行事を大事にしながら、今日のまとまりを今後の学校生活に是非活かしていってほしいです。お疲れ様でした。













全国私学経営者連絡協議会研修会に参加して 11月19日・20日と全国私学経営者連絡協議会研修会に参加してきました。90分の講演が4本あり、とても中身の濃い内容ばかりでした。最初は小泉八雲のひ孫にあたり現在小泉八雲記念館館長をされている小泉凡氏が講演され、「オープンマインドの精神や五感を研ぎ澄ますことが大事」という小泉八雲が100年前に言っていた内容の説明をされ、素晴らしい考えをお持ちであったことがよくわかりましたし、今の時代にも通じる内容に感心しました。2番目は宇宙飛行士の山崎直子さんの話で、無重力状態のため宇宙船内でタオルを絞ると水が膜を作るようにタオルと手にまとわりついてくる映像や宇宙船内から地球を見た映像を見せていただき、体験者でしか伝えられない内容に驚きつつ、とても夢のある話だと思いました。またこういった無重力での体の使い方などの訓練を毎日時間をかけてされるのだそうです。宇宙飛行士になる資格も山崎さんがなられた頃より条件は緩和されているようです。関心を持って突

き詰めてなりたい自分になるのは夢があって良いなぁと思いました。3番目は第一共同法律事務所冨田武夫弁護士の話で、「最近の労働判例の動向」と題して、私たち経営者が直面する問題の事例を取り上げての解説がありました。4番目は日本大学文理学部古川隆久教授の「最新研究で見る昭和史の現在」と題して、歴史に関する考え方の話でした。この話の中で思ったことは、昭和の時代が歴史に登場するということを不思議に感じたことです。自分が生まれた昭和時代、私たちが日本史で習った歴史も第二次世界大戦終了までが入試の範囲でしたから、それを思うと平成が30年、令和が8年ですから昭和の時代が教科書に登場してきてもおかしくないですね。とても不思議な感じがしました。特に女性に関する社会へのかかわり方の変化など興味深く聞かせていただきました。さらに情報交換会では他県の理事長・先生方とも話をして、学校の運営について話を伺い、実りのある研修会に参加させていただきました。